

## 第9回新市建設計画策定小委員会（議事概要）

日 時 平成14年12月17日（火）PM2：30～PM3：47

場 所 あみの図書館

出席者数 18人（欠席2人）

傍聴者数 3人

主な議題

（1）協議第1号 新市建設計画について

（2）次回の議題について

（3）次回の小委員会の日程等

議事経緯

委員長あいさつ

会議の成立確認

議題

（1）協議第1号 新市建設計画について・・・継続協議

主な意見

委員 案の中に、リラクゼーションなど横文字が非常に多くわかりづらい。改善されたい。

委員 教育の中で、個性を伸ばす前に基礎基本が大切。何回か前に提案し、中間案に記載されている。今回取れているのは困る。また、「知・徳・体」そしてもう一つ感動する心「感」を保育所や幼稚園で教えることが大事だと考える。丹後の教育は、基礎基本をしっかりとやりその上で個性を伸ばすというものにしていただきたい。さらに、子供は日々成長する。教育については新しい市になって考えるのでは子供に迷惑。教育委員会の意見を聴取し、よい方向を出されたい。

委員 京都府の計画や協力してもらえる内容も、住民にわかりやすいよう新市計画に盛り込む必要があるのではないか。

委員 「思いやりと健全な心身をそだてるまち」の中の医療体制の充実ということについて、久美浜病院と弥栄病院を中心にとあるが、このままの医療体制でいくのかどうかの議論が必要ではないか。医療体制整備は大事な問題で、例えばひとつとすると民間委託というようなことの含みを残した表現が必要と考える。

委員 病院については、なくするということではなく地域医療の拠点として持つべきだが、経営形態については独立法人化なども探っていくことも大事だと考えるので、議論の中で検討し計画の中に表現していただきたい。

委員 第3セクターの関連はどうなっているのか。

委員 7つある基本方針を4つの小委員会に分け、それぞれに検討してもらうようなこ

とはできないか。

事務局 今後も、小委員会ごとにフリートークの時間を設け意見を求めていきたい。

委員 区の取り扱いについては各町様々で、久美浜町では10戸でも区長を置いているが、そういったことはどうなるのか。

委員長 総務・企画・議会小委員会で、議論を今後していただく予定にしている。

委員 地域審議会の方向性の結論は出ていないが、特例法上の地域審議会ということになると、新市の予算面などへの関わりの中で、大きな影響力を持つようになると弊害が出てくるのではないか。区長会のような任意な組織がよいと考える。

委員長 地域審議会的な組織ということで、部会の方に検討させている。

委員 建設計画に、現在ある各町の振興計画などを取り入れ、当てはめてもらったら議論しやすい。

委員 各町の振興計画を入れると、新市としての一体感がなくなると考える。

委員長 本日の案は、これまでの小委員会や他の小委員会の御意見をとりまとめたもので、町のサイドの検討を加えたものではない。今後、これをもとに、実現可能性などの検討を加え、計画案として御提示したい。

## (2) 次回の議題について

新市建設計画について

## (3) 次回の小委員会の日程等

第10回新市建設計画策定小委員会

日程 平成15年2月6日(木) 午後2時より

場所 丹後町役場

文責 峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町合併協議会事務局

(速報のため、事後修正の可能性あり)